

（仮称）大和市商業戦略計画策定にかかる意見交換会資料

大和市市民経済部産業活性課

# 1 はじめに

大和市では大和市商業振興条例（平成 25 年 4 月施行）を踏まえ、現在（仮称）大和市商業戦略計画の策定に取り組んでいます。

計画策定にあたっては、商業者や市民の皆様のご意見等をできるだけ多くお伺いし、大和市商業の現状を把握するためのアンケート調査を実施しました。

このたび、アンケート調査の結果とそこから見えてきた課題を整理しました。

この資料をもとに、さらに関係者の皆様のご意見をいただいた上で、計画の策定を進めてまいります。

# 2 計画の目的と位置づけ

大和市商業振興条例では、市・地域経済団体・商店会・商業者等・市民の役割を定めることにより、商業基盤の強化と地域社会の活性化を促進することを目的としています。

また、条例第 4 条第 1 項で「市長は、（中略）商業の振興に関する施策についての基本的な計画（以下、「基本計画」という。）を策定するよう努めるものとする。」と定めています。

この計画は、大和市の「商業の振興に関する基本的な計画」であると共に、第 8 次総合計画と整合を図り、実施計画の基本的な考え方を示すものとしします。

# 3 計画の期間

世界規模の経済不況や災害による影響など、商業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、長期的な視点を持ったビジョンやプランを策定することが困難な状況にあります。そのため、商業者や市民等の意見や要望を聞いた上で、短中期的な課題等にできるだけ早期に対応していくことが重要になっています。

こうしたことから、この計画の期間は第 8 次総合計画の目標年次（平成 30 年度）と整合を図り、平成 26 年（2014 年）度から 30 年（2018 年）度の 5 年間とします。

		年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総合計画	基本構想		→					→
	基本計画	前期	→	後期	→			
商業戦略計画				→				

## 4 アンケート調査結果の概要

商業者、商店会長、市民等の商業振興に関する意見等を把握するために、次のとおりアンケート調査を実施しました。

対象	対象者数	回収数	回収率	備考
商業者	1,343人	371人	27.6%	H25年6～7月実施
商店会長※	35人	35人	100.0%	H25年6～7月実施
市民（無作為抽出）	2,000人	728人	36.4%	H25年6～7月実施
来街者（大和駅）	—	103人	—	H25年7月22日実施

※ 現在、市内には33商店会と14の大和商工会議所支部があります。

アンケート調査は33商店会長、商店会と支部の区域が重複していない2支部にお願いしました。

### ① 商業者アンケート調査

- 経営上の問題点として「売上の伸び悩み」（25.4%）が最も多く、「同業者との競争激化」（12.8%）、「消費者ニーズの変化」（10.3%）、「諸経費の増加」（10.2%）と続いています。
- 後継者の現状について「後継者はいない」「親族以外から探している」という人が122人（32.9%）いますが、経営上の問題点として「後継者問題」と答えた人が30人（4.2%）であり、必ずしも問題とはなっていません。

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1) 売上の伸び悩み	182	25.4%	(7) 資金不足や資金調達	36	5.0%
(2) 諸経費の増加	73	10.2%	(8) 後継者問題	30	4.2%
(3) 消費者ニーズの変化	74	10.3%	(9) 駐車場や駐輪場の確保	21	2.9%
(4) 同業者との競争激化	92	12.8%	(10) 特に問題等はない	37	5.2%
(5) 店舗の老朽化	52	7.3%	(11) その他	27	3.8%
(6) 大型店の進出	47	6.6%	(12) 無記入他	46	6.4%
合計（複数回答：3つまで）				717	100.0%

選択項目	回答数	構成比
(1) 後継者がいる	107	28.8%
(2) 後継者はいない	113	30.5%
(3) 一代限りのため継がせない	28	7.5%
(4) 後継者を親族以外から探している	9	2.4%
(5) まだ考えていない	99	26.7%
(6) 無記入他	15	4.0%
合計	371	100.0%

○ 今後の経営方針として、「営業規模の拡大」と「現状維持」を合わせて約 63%になりますが、約 10%の人が、「営業規模の縮小」または「廃業（予定）」を考えています。

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1) 営業規模の拡大	67	18.1%	(5) 廃業（予定）	24	6.5%
(2) 現状維持	168	45.3%	(6) その他	5	1.3%
(3) 営業規模の縮小	14	3.8%	(7) 無記入他	44	11.9%
(4) わからない又は未定	49	13.2%	合計	371	100.0%

○ 「営業規模の拡大」や「現状維持」を考えている人は、今後の取組として「接客態度向上」(16.0%)、「新たな市場の開拓」(13.3%)、「取扱商品の品質の向上」(12.9%)「取扱品目の充実」(12.5%)が上位を占めています。

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1) 取扱品目の充実	69	12.5%	(8) 接客態度向上	88	16.0%
(2) 取扱商品の値下げ	11	2.0%	(9) 仕入先や仕入方法の見直し	41	7.5%
(3) 取扱商品の品質の向上	71	12.9%	(10) ホームページの作成や充実	26	4.7%
(4) 新たな市場の開拓	73	13.3%	(11) 駐車場や駐輪場の充実や確保	6	1.1%
(5) ネット通販	12	2.2%	(12) その他	18	3.3%
(6) POP やチラシ等の充実	30	5.5%	(13) 無記入他	64	11.6%
(7) 店舗の改装や改築	41	7.5%	合計（複数回答：3つまで）	550	100.0%

○ お店のホームページについては 29.4%の人が持っていませんが、54.8%の人が「やまと商店会どっとこむ」や店独自のホームページを持っています。

選択項目	回答数	構成比
(1) 「やまと商店会どっとこむ」に参加している	87	23.5%
(2) お店独自のホームページを持っている	59	15.9%
(3) 「やまと商店会どっとこむ」に参加し、店独自のホームページを持っている	57	15.4%
(4) 「やまと商店会どっとこむ」に不参加、店独自のホームページも持っていない	109	29.4%
(5) 無記入他	59	15.9%
合計	371	100.0%

- 商店街活動について、「活発でない」「どちらかといえば活発でない」と答えた人が47.7%、お店の売上に「役立っていない」「あまり役立っていない」と答えた人が45.6%います。一方、56.6%の人が商店街活動に「協力している」「どちらかといえば協力している」と答えています。

**【商店街の活動について】**

選択項目	回答数	構成比
(1)活発である	13	3.5%
(2)どちらかといえば活発である	66	17.8%
(3)どちらともいえない	102	27.5%
(4)どちらかといえば活発ではない	74	19.9%
(5)活発ではない	103	27.8%
(6)無記入他	13	3.5%
合計	371	100.0%

**【お店の売上について】**

選択項目	回答数	構成比
(1)役立っている	11	3.0%
(2)少しは役立っている	66	17.8%
(3)どちらともいえない	115	31.0%
(4)あまり役立っていない	76	20.5%
(5)役立っていない	93	25.1%
(6)無記入他	10	2.7%
合計	371	100.0%

**【商店街活動について】**

選択項目	回答数	構成比
(1)協力している	124	33.4%
(2)どちらかといえば協力している	86	23.2%
(3)どちらともいえない	85	22.9%
(4)どちらかといえば協力していない	40	10.8%
(5)協力していない	29	7.8%
(6)無記入他	7	1.9%
合計	371	100.0%

- 商店街に取り組んでほしい事業としては、「空き店舗の解消」(13.7%)が最も多く、「イベントの充実」(12.8%)、「商店街活性化のためのプランづくり」(11.6%)「防犯カメラ等の防犯対策」(10.4%)が続いています。

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1) イベントの充実	95	12.8%	(9) 街路灯の改修やLED化	65	8.8%
(2) チラシ等の充実	27	3.6%	(10) 防犯カメラ等の防犯対策	77	10.4%
(3) 駐車場、駐輪場の整備	60	8.1%	(11) 未加入店舗の加入促進	51	6.9%
(4) 商店街マップの発行	45	6.1%	(12) 商店街活性化のためのプランづくり	86	11.6%
(5) ポイントカード等事業の実施	15	2.0%	(13) ホームページ(やまと商店会どっとこむ)の活用	16	2.2%
(6) 空き店舗の解消	102	13.7%	(14) その他	20	2.7%
(7) 買物の宅配サービス	10	1.3%	(15) 無記入他	52	7.0%
(8) アーケードやアーチの改修や撤去	21	2.8%	合計(複数回答: 3つまで)	742	100.0%

- 大和市や大和商工会議所への要望等を自由記述形式で聞いたところ、「大和駅周辺の開発」(4件)、「商店会への加入促進」(3件)、「街路灯の維持管理」(3件)、「やまと商店会どっとこむ」(2件)等に関する意見が複数ありました。

## ② 商店会長アンケート

- 35商店会の会員数は1,343人います。1商店会あたり7~108人となり平均約38人となります。
- 空き店舗は1商店会あたり0~60店舗あり、合計231店舗、平均約6.6店舗となります。
- 商店街の現在の景況は、19商店会（約54%）が「どちらかといえば悪くなっている」（31.4%）、「悪くなっている」（22.9%）と答えています。

選択項目	回答数	構成比
(1)良くなっている	1	2.9%
(2)どちらかといえば良くなっている	0	0.0%
(3)どちらともいえない	15	42.9%
(4)どちらかといえば悪くなっている	11	31.4%
(5)悪くなっている	8	22.9%
(6)無記入他	0	0.0%
合計	35	100.0%

- 今後の見通しについても、18商店会（約51%）が「どちらかといえば悪くなっていく」（37.1%）、「悪くなっていく」（14.3%）と答えています。

選択項目	回答数	構成比
(1)良くなっていく	0	0.0%
(2)どちらかといえば良くなっていく	1	2.9%
(3)どちらともいえない	13	37.1%
(4)どちらかといえば悪くなっていく	13	37.1%
(5)悪くなっていく	5	14.3%
(6)無記入他	3	8.6%
合計	35	100.0%

○ 商店街の問題や課題として「店主の高齢化」(25.3%)、「商店街に来る人の減少」(12.6%)、「役員の高齢化やなり手不足」(11.6%)の回答が多くありました。今後の取り組みとしては「商店街活性化のためのプランづくり」(13.4%)、「未加入店舗の加入促進」(12.2%)、「街路灯の改修やLED化」(11.0%)が多くなっています。

### 【商店街の問題や課題】

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1)店主の高齢化	24	25.3%	(7)商店街活動に消極的な店の増加	10	10.5%
(2)商店街に来る人の減少	12	12.6%	(8)店舗の老朽化や空き店舗の増加	7	7.4%
(3)魅力のある店舗が少ない	7	7.4%	(9)街路灯やアーケード等の維持管理	6	6.3%
(4)大型店との競合	9	9.5%	(10)役員の高齢化やなり手不足	11	11.6%
(5)非会員（未加入店舗）の存在	5	5.3%	(11)その他	2	2.1%
(6)駐車場や駐輪場の不足	2	2.1%	(12)無記入他	0	0.0%
			合計（複数回答：3つまで）	95	100.0%

### 【商店街の今後の取り組み】

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1)イベントの充実	8	9.8%	(9)街路灯の改修やLED化	9	11.0%
(2)チラシ等の充実	1	1.2%	(10)防犯カメラ等の防犯対策	6	7.3%
(3)駐車場や駐輪場の整備	3	3.7%	(11)未加入店舗の加入促進	10	12.2%
(4)商店街マップの発行	7	8.5%	(12)商店街活性化のためのプランづくり	11	13.4%
(5)ポイントカード等事業の実施	0	0.0%	(13)HP（やまと商店会どっとこむ）の活用	6	7.3%
(6)空き店舗の解消	8	9.8%	(14)その他	4	4.9%
(7)買物の宅配サービス	3	3.7%	(15)無記入他	3	3.7%
(8)アーケードやアーチの改修や撤去	3	3.7%	合計（複数回答：3つまで）	82	100.0%

○ 大和市への意見、要望では「街路灯の電気料」や「街路灯の改修やLED化」に対するものが多く出されました。



### ③ 市民アンケート

○ 商店街の利用について、「変わらない」（60.6%）と答えた人が最も多くなりましたが、「減っている」という人が33.1%おりました。利用頻度について「ほとんど利用しない」（54.9%）と半数以上の人が答えています。

#### 【商店街の利用について】

選択項目	回答数	構成比
(1) 増えている	32	4.4%
(2) 減っている	241	33.1%
(3) 変わらない	441	60.6%
(4) 無記入他	14	1.9%
合計	728	100.0%

#### 【商店街の利用頻度】

選択項目	回答数	構成比
(1) 週5日以上	29	4.0%
(2) 週3～4日程度	90	12.4%
(3) 週1～2日程度	204	28.0%
(4) ほとんど利用しない	400	54.9%
(5) 無記入他	5	0.7%
合計	728	100.0%

○ 商店街を「ほとんど利用しない」理由について、「商店街以外でも購入できる」（27.4%）「欲しい商品が少ない、または無い」（18.5%）で約半数を占めており、商店街に「それぞれの商店の魅力向上」（24.9%）「駐車場や駐輪場の整備」（16.0%）「商店街全体でのにぎわいの演出」（15.4%）を期待しています。

#### 【商店街を利用しない理由】

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1) 自宅や勤務地から遠い	125	12.8%	(8) 夜遅くまで営業していない	45	4.6%
(2) 欲しい商品が少ない、または無い	181	18.5%	(9) 歩道が狭く歩きにくい	30	3.1%
(3) 商店街以外でも購入できる	269	27.4%	(10) 駐車場や駐輪場が無い	116	11.8%
(4) 商品が高い	74	7.6%	(11) 店に入りにくい	19	1.9%
(5) イベントや催事に魅力がない	19	1.9%	(12) その他	54	5.5%
(6) 店主や店員との会話が面倒くさい	10	1.0%	(13) 無記入他	16	1.6%
(7) 人通りが少なく近寄りづらい	22	2.2%	合計（複数回答：3つまで）	980	100.0%

#### 【商店街への期待】

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
(1) それぞれの商店の魅力向上	406	24.9%	(7) イベントやセールの実施	169	10.4%
(2) 駐車場や駐輪場の整備	260	16.0%	(8) スタンプやポイント等サービスの充実	101	6.2%
(3) 歩きやすい歩道の整備	161	9.9%	(9) 宅配サービス	52	3.2%
(4) 商店街全体でのにぎわいの演出	251	15.4%	(10) その他	70	4.3%
(5) 街路灯の整備	35	2.1%	(11) 無記入他	56	3.4%
(6) 営業時間の延長	68	4.2%	合計（複数回答：3つまで）	1,629	100.0%

- 「やまと商店会どっとこむ」の利用状況については、79.3%の人が「ホームページを知らない」と答えており、市民の関心の低さを表しています。「やまと商店会どっとこむ」の内容について「店やイベントの情報が少ない」「特徴に欠ける」「わかりづらい」という意見がある一方、「見やすい」「便利」という意見も寄せられました。

選択項目	回答数	構成比
(1) ホームページをよく見る	1	0.1%
(2) ときどきホームページを見る	17	2.3%
(3) ホームページの名前を聞いたことはある	71	9.8%
(4) ホームページを知らない	577	79.3%
(5) 無記入他	62	8.5%
合計	728	100.0%

- 商店街の地域の交流やにぎわいの役割について、「そう思う」(36.7%)と「そうは思わない」(30.9%)がほぼ同数となっております。一方、商店街への市の助成については「必要なことである」(59.9%)と答えた人が最も多く、商店街の必要性については65.2%の人が「ないと困る」「あると便利」と答えています。

#### 【商店街のにぎわいの役割】

選択項目	回答数	構成比
(1) そう思う	267	36.7%
(2) そうは思わない	225	30.9%
(3) わからない	188	25.8%
(4) 無記入他	48	6.6%
合計	728	100.0%

#### 【市の助成】

選択項目	回答数	構成比
(1) 必要なことである	436	59.9%
(2) 必要とは思わない	51	7.0%
(3) わからない	186	25.5%
(4) 無記入他	55	7.6%
合計	728	100.0%

#### 【商店街の必要性】

選択項目	回答数	構成比
(1) ないと困る (必要である)	159	21.8%
(2) あると便利	316	43.4%
(3) どちらでもよい	132	18.1%
(4) 特に必要性を感じない	71	9.8%
(5) 無記入他	50	6.9%
合計	728	100.0%

- 一方、商店街や商店への自由記述には「地域の交流やにぎわいの中心的役割を果たして欲しい」「大型店にない地域に根ざしたサービス」「高齢社会を見据えた商店街」等の意見や要望が見られました。

#### ④ 来街者（大和駅）アンケート

- 大和駅周辺の印象については、11項目中9項目（うち2項目はほぼ同数）、個々の商店の印象については、5項目すべてが「よい」の回答が得られました。
- 大和駅周辺の印象について、「プロムナードの空間」については66.0%が「よい」と回答し高い評価を得ていますが、「プロムナードを利用したイベント」と「駐車場、駐輪場の設置状況」は「わるい」の回答が上回っています。
- 個々の商店の印象について、「店主、店員の接客態度」を「わるい」と回答した人はいませんでした。
- 第4地区の公益施設整備により大和駅周辺の商店街に「活性化してほしい」（54.4%）と回答した人が約半数いました。
- 希望する商店街のイメージとしては、「緑」（3件）と「清潔感」（3件）に関する意見が複数ありました。

#### 【大和駅周辺の印象】

設問	よい	わるい	設問	よい	わるい
(1) 安全安心（防犯対策）	35.9%	16.5%	(7) 商店街の店（遊戯施設等）	17.5%	16.5%
(2) 歩きやすい歩道	49.5%	16.5%	(8) 商店街のアーケードやアーチ	20.4%	18.4%
(3) プロムナードの空間	66.0%	4.9%	(9) 商店街のイベントやサービス	25.2%	8.7%
(4) プロムナードを利用したイベント	26.2%	29.1%	(10) 駐車場、駐輪場の設置状況	26.2%	29.1%
(5) 商店街の店（物販店）	34.0%	9.7%	(11) 駅周辺の案内図やサインなど	24.3%	9.7%
(6) 商店街の店（飲食店）	35.9%	6.8%			

#### 【大和駅周辺の個々の商店の印象】

設問	よい	わるい
(1) 商品の品揃え	26.2%	16.5%
(2) サービスの質	21.4%	4.9%
(3) 商品の価格	23.3%	6.8%
(4) 店主、店員の接客態度	36.0%	0.0%
(5) 営業時間（開店や閉店時刻）	29.1%	5.8%

#### 【公益施設】

選択項目	回答数	構成比
(1) 活性化してほしい	56	54.4%
(2) 今のままでよい	20	19.4%
(3) わからない	13	12.6%
(4) その他	5	4.9%
(5) 無記入他	9	8.7%
合計	103	100.0%

## 5 大和市商業の課題

---

商店会長のアンケート結果にあるように、景況については現在も今後の見通しもいずれも、「(どちらかといえば)悪くなっている」「(どちらかといえば)悪くなっていく」と約半数が回答しています。

商業者にとっても、「売上の伸び悩み」は経営上の問題点として最も多く、リーマンショック以降の経済不況や東日本大震災等の影響が大きいものと推察されます。昨年末からの国の景気対策の効果はまだ商店街には表れていないと思われます。

市民アンケートでも約3分の1の方が商店街の利用が減っていると共に、ほとんど利用しないという方が半数以上おりました。

大和オークシティ(イトーヨーカ堂とイオン)をはじめとする総合スーパーや食品スーパーなどが多く立地している環境から、「大型スーパーやコンビニエンスストア等へ行ってしまう」という理由の方が多くおりました。

しかしながら、市民の約3分の2の方が商店街は「ないと困る」「あると便利」と必要性を感じているアンケートの結果が得られました。

大和駅周辺については、駅周辺の印象、個店の印象ともに概ね「よい」という回答を得ていますが、今後の東側第4地区の公益施設整備に伴って、商店街に「活性化してほしい」と約半数の方から期待が寄せられました。

以上のようなアンケート結果から見えてきた大和市商業の課題を次のとおり整理しました。

### ①個々の商店が抱える様々な問題点を解決し、魅力を高めることが必要です

- ・約63%の商業者が「お店をもっと大きくしたい」「今後もお店を続けていきたい」と考えています。
- ・商業が活性化していくためには、個々の商店が前向きに取り組む気持ちは重要です。
- ・市民も、商店街に「それぞれの商店の魅力向上」を最も期待しています。
- ・市としても、やる気のある商店や前向きに取り組んでいる商店を支援していくことが必要と考えます。

### ②商店街や個店を紹介するために、ホームページ「やまと商店会どっとこむ」をPRすると共にコンテンツの充実、更新を進める必要があります。

- ・約55%の商業者が「やまと商店会どっとこむ」や自身のホームページを持っていることから、インターネットの環境はある程度整っていると考えます。
- ・しかしながら、市民の約80%が「やまと商店会どっとこむ」を知らない状況にあります。
- ・今後は、ホームページの内容をいかに充実するか、いかに市民に見てもらうかが重要になると考えます。

**③商店街の空き店舗の解消を進める必要があります。**

- 1 商店会当たり平均で 6.6 店舗の空き店舗があり、最大では 60 店舗ある商店会もあります。
- 商業者が希望する商店会の取組としても「空き店舗の解消」が上位にあります。
- 空き店舗により商店街の連続性が失われ、商店街全体の魅力が低下することが危惧されます。

**④買物空間としての商店街だけでなく、地域の交流や防犯・防災の機能を高めていく必要があります。**

- 約 33%の市民が商店街の利用が減っており、さらに、市民の約半数が商店街をほとんど利用していないという現状があります。
- しかしながら、市民の約 60%が「商店街が行うイベントや街路灯整備等への市の助成」や「商店街の必要性」について理解を示しています。
- 商店街は単に買物する空間だけでなく、地域の交流や防犯・防災等の役割が求められています。
- 商店会長からも「街路灯の改修やLED化」の要望が高くなっており、商店街としても地域への貢献に取り組む姿勢が伺えます。

**⑤プロムナードを活用したイベントを充実させることにより、大和駅周辺の商店街の活性化を図る必要があります。**

- 東側第 4 地区に公益施設完成後、市民の約半数が大和駅周辺の商店街に活性化してほしいと望んでいます。
- また、現状の「プロムナードの空間」について高い評価が得られましたが、「プロムナードを利用したイベント」については、今後さらに効果的な展開を図る必要があります。
- 東側第 4 地区の公益施設整備を契機と捉え、商店街が連携してイベント等により活性化を図る必要があります。

**⑥未加入店舗の商店会への加入を進める必要があります。**

- 未加入店舗の加入促進は、商店会組織の強化充実、新たな人材の発掘などの点から重要です。
- 商店会の魅力やメリットを自ら説明すると共に、市や商工会議所も側面から支援する必要があります。

これらの様々な商業の課題を解決するためには、

事業者や商店街の発意・創意工夫・自助努力が基本となります。その上で市が支援すべき施策、市が自ら実施すべき施策を展開することにより、本市の商業振興を図っていきたいと考えます。

【平成25年10月】

担当：市民経済部産業活性課商業活性担当

〒242-8601

神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号

TEL 046-260-5134

FAX 046-260-5138

E-mail [sk\\_sangy@city.yamato.lg.jp](mailto:sk_sangy@city.yamato.lg.jp)